

JAPAN TAPPI 紙パルプ試験方法（紙ベース版）正誤表

紙ベースで頒布しました JAPAN TAPPI 紙パルプ試験方法におきまして、一部記載内容に誤りがございましたので、ここに訂正してお詫び申し上げます。

各規格の PDF 版は、正しい内容に更新しています。

【訂正箇所一覧】

(部が訂正箇所)

- No.5-1 紙及び板紙 — 平滑度及び透気度試験方法 — 第 1 部：スムースター法
4 頁 7. 試験結果の表し方 2 行目
(誤) JIS P 8401 (正) JIS Z 8401
- No.7 紙及び板紙 — 透湿度試験方法
4 頁 下から 12 行目、11 行目
(誤) 3.5 試験結果の表し方 (正) 4.5 試験結果の表し方
(誤) 3.6 報告 (正) 4.6 報告
5 頁 下から 3 行目
(誤) 1996 年 制定 (正) 1966 年 制定
- No.12 紙 — サイズ度試験方法 — ペン書き法
2 頁 5. 操作 h) 注(4)
(誤) この標準にじみ見本は、紙パルプ技術協会から入手できる。
(正) 長期間使用しないときは、よく水洗してインクを取り除いておく。
- No.15-1 紙 — カール試験方法 — 第 1 部：カール深さ測定法
2 頁 7. 報告 b)
(誤) 試験片の種類又は名称 (正) 試験片の種類及び名称
- No.15-3 紙 — カール試験方法 — 第 3 部：カール角測定法
2 頁 7. 報告 b)
(誤) 試験片の種類又は名称 (正) 試験片の種類及び名称
- No.18-2 紙及び板紙 — 内部結合強さ試験方法 — 第 2 部：インターナルボンドテスト法
1 頁 英文試験方法名称
(誤) Part 2 : Internal bond tester methodt
(正) Part 2 : Internal bond tester method
3 頁 5.3 測定 下から 6 行目
(誤) a) 振子を右に… (正) b) 振子を右に…
以降の b), c), d)…を c), d), e)…に訂正。
4 頁 8. 報告 c)
(誤) 試験片の種類, 名称及び品名 (正) 試験片の種類及び名称

- No.19-2 板紙 — すき合わせ層のはく離強さ試験方法 — 第2部：平均荷重測定法
4頁 4.7 報告 e)
(誤) 適用した試験方法 (A法) (正) 適用した試験方法 (B法)

- No.21 紙及び板紙 — 退色度試験方法
3頁 下から9行目
(誤) a) 報告 報告には, … (正) 6.4 報告 報告には, …
以降の b), c), d)…を a), b), c)…に訂正。
5頁 付表2 温度設定可能範囲の欄
(誤) 周囲温度±20°Cから300°C (正) 周囲温度 20°Cから300°C

- No.39 古紙 — 脱インキ試験方法
4頁 7. 報告 a)
(誤) 規格名称及び規格番号 (正) 規格名称又は規格番号

- No.42 木材パルプ及びパルプ材 — 炭水化物組成分析方法 — ガスクロマトグラフ分析法
1頁 2. 引用規格 6行目~10行目
(誤) JIS R 8951 (正) JIS K 8951
(誤) JIS R 8355 (正) JIS K 8355
(誤) JIS R 8886 (正) JIS K 8886
(誤) JIS R 8577 (正) JIS K 8577
(誤) JIS R 8161 (正) JIS K 8161
2頁 5. 試薬 h)
(誤) ジクロロメタン飽和水溶液 (正) ジクロロメタン
3頁 7.4 アセチル化 a)
(誤) 7.0 f)で… (正) 7.3 f)で…
3頁 7.5 ガスクロマトグラフ分析 b)
(誤) 7.0 h)で… (正) 7.4 h)で…
3頁 8. 測定回数
(誤) 7.0 から 7.0 までの… (正) 7.1 から 7.5 までの…
3頁 9. 校正 2行目
(誤) …7.0 a)から7.0 h)までの… (正) …7.3 a)から 7.4 h)までの…
4頁 上から10行目
(誤) k: 7.7 校正の項で… (正) k: 9. 校正の項で…

- No.43 紙, 板紙及びパルプ — 画像解析装置によるきょう雑物試験方法
6頁 d)の表中 体積平均径の計算式
(誤) $(\sum nd^3 / \sum n)^{1/3}$ (正) $(\sum nd^3 / \sum n)^{1/3}$ (d3の3を上付きに)

- No.46 紙及び板紙 — 印刷インキ受理性試験方法 — K&N インキ法
1頁 2. 引用規格
(誤) JIS P 8123 紙及びパルプのハンター白色度試験方法 (ISO 白色度)
JIS P 8148 紙及び板紙の拡散照明方式による白色度試験方法

- (正) JIS P 8123 紙及びパルプのハンター白色度試験方法
 JIS P 8148 紙及び板紙の拡散照明方式による白色度試験方法 (ISO 白色度)
- No.47 紙及び板紙 — 塗工層のコーティングバインダー成分分析方法
 2頁 5.1.1 定性分析 a) よう素溶液
 (誤) …よう化カリウム溶液に 0.13g のよう素を加え、溶解後蒸留水で 100mL に希釈する(約 0.01mol/L の貯蔵溶液)。…分析時に調整する。
 (正) …よう化カリウムを溶かした溶液に、0.13g のよう素を加えて溶解し、蒸留水で 100mL に希釈する。これを貯蔵溶液として、…分析時に調整する。
 2頁 5.1.2 定量分析 f) よう素溶液
 (誤) …よう化カリウム溶液に 5g のよう素を加えて、1 L に希釈する。
 (正) …よう化カリウムを溶かした溶液に、5g のよう素を加えて溶解し、蒸留水で 1 L に希釈する。
 - No.49-3 紙 — 表面 pH 測定方法 — 第 3 部：表面はく離法
 1頁 英文試験方法名称
 (誤) Paper — Determination of surface pH — Part 1 : Surface abrasion method
 (正) Paper — Determination of surface pH — Part 3 : Surface abrasion method
 - No.55 パルプ材 — 分析用試料の採取方法及び調製方法
 2頁 下から 3 行目、2 行目
 (誤) 1959 年 JIS P 800 制定 (正) 1959 年 JIS P 8001 制定
 (誤) 1998 年 JIS P 800 廃止 (正) 1998 年 JIS P 8001 廃止
 - No.62 パルプ材 — エーテル可溶分試験方法
 2頁 下から 3 行目、2 行目
 (誤) 1961 年 JIS P 8008 制定 (正) 1959 年 JIS P 8009 制定
 (誤) 1998 年 JIS P 8008 廃止 (正) 1998 年 JIS P 8009 廃止
 - No.67 紙及び板紙 — 吸油度試験方法
 1頁 3. 装置及び器具 以降の見出し番号
 (誤) 3. 装置及び器具 (正) 4. 装置及び器具
 (誤) 3.1 油吸収メータ (正) 4.1 油吸収メータ
以降、2 頁までの見出し番号を同様に訂正。
 3頁 付図 1
 (誤) ⑦ ローラ転動路 ⑧ ローラ保持器
 (正) ⑥ ローラ転動路 ⑦ ローラ保持器
 - No.71 1頁 2. 引用規格
 (誤) JIS Z 9401-1 (正) JIS Z 9041-1

以上